

モニタリング結果報告書（平成24年度下半期）

施設	神奈川県女性保護施設
指定管理者	社会福祉法人神奈川県民生福祉協会
指定期間	H18. 4. 1 ～ H28. 3. 31
施設所管課	人権男女共同参画課

1 今期の指定管理者の管理運営状況（2～10の結果を踏まえた判定）

B

<判定理由>

利用者の減少に伴う収支状況への影響が懸念されるが、平素から経費削減に取り組むなど対応を図っている。入所者等満足度調査の結果にも積極的かつ適切に対応しており、業務の改善に努めるなど、提案どおりに取組みを実施しているほか、きめ細やかな支援の結果、自立の促進が図られていることから、B判定とした。

- A：提案を上回る取組みを実施し、極めて良好な管理運営状況である。
- B：提案どおりに取組みを実施し、良好な管理運営状況である。
- C：提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、一部工夫が必要な面がある。
- D：提案どおりに取組みを実施していない。また、提案どおりに取組みを実施したが、管理運営状況については、抜本的な改善が必要である。

2 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	確認方法			指導等の有無	備考（指導事項等）
			月報確認	現場確認	電話確認		
10月	11月10日	11月20日	○	—	○	無	
11月	12月10日	12月19日	○	○	○	無	
12月	1月10日	1月17日	○	○	○	無	
1月	2月10日	2月19日	○	○	○	無	
2月	3月10日	3月21日	○	—	○	無	
3月	4月10日	4月17日	○	○	○	無	

3 指定管理者が提案した取組み等の実施状況

	提案内容	実施状況
1	<p><利用者の自立支援> 利用者の自立支援は、本人の自主性を尊重しながら「自立支援計画書」を策定し、それに沿って具体的な支援・援助を実施する。 自立支援計画書に基づいて振り返りをし、目標の達成度合いについて確認し合いながら、次のステップに向けて支援を実施する。</p>	<p><自立支援計画書作成実績> 10月：3人 11月：1人 12月：0人 1月：3人 2月：1人 3月：9人 下半期実績：17人</p> <p>さらに、入所1ヶ月目、2ヶ月目等の節目にはカンファレンス（評価）を行っている。</p>

	提案内容	実施状況
2	<p><心理的ケアの充実> 利用者の心理面からの支援を重視して心理士（心理療法担当職員）を配置して、心理相談を実施する。</p>	<p><心理士面接実績> 10月：17人 11月：13人 12月：22人 1月：22人 2月：23人 3月：31人 下半期実績：128人</p>
3	<p><退所者自立支援事業の充実> 施設を退所後、地域社会で安定した自立生活が継続して送れるよう自立生活のための相談、指導等の援助を希望する退所者に支援を行う。</p>	<p><支援実績> 10月：437人 11月：355人 12月：315人 1月：314人 2月：320人 3月：279人 下半期実績：2,020人</p>
4	提案内容の要旨を記載	実績又は今後の見込みを記載
5	提案内容の要旨を記載	実績又は今後の見込みを記載

4 収支状況

(単位：千円)

		収入額				支出額	収支差額
		指定管理料	利用料金	その他収入	収入合計		
募集時の積算額 (参考)		139,029	0	2,904	141,933	141,933	0
予算額	前年度	143,023	0	0	143,023	143,023	0
	上半期	71,499	0	0	71,499	71,499	0
	下半期	71,524	0	0	71,524	71,524	0
	今年度	143,327	0	1,385	144,712	144,712	0
	上半期	71,796	0	693	72,489	72,489	0
	下半期	71,531	0	692	72,223	72,223	0
下半期実績額	10月	7,447	0	187	7,634	8,605	▲ 971
	11月	7,544	0	222	7,766	7,708	58
	12月	20,173	0	147	20,320	14,049	6,271
	1月	7,588	0	156	7,744	7,842	▲ 98
	2月	7,634	0	136	7,770	8,464	▲ 694
	3月	7,802	0	246	8,048	8,208	▲ 160
	今年度 下半期合計	58,188	0	1,094	59,282	54,876	4,406
	前年度 下半期合計	60,386	0	1,758	62,144	61,770	374
	対前年度下半期比			③	-4.6%	-11.2%	
参考	今年度 上半期合計	59,086	0	5,940	65,026	64,828	198
	今年度 合計	117,274	0	7,034	124,308	119,704	4,604

注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しない。

収支状況に関する確認等

確認項目	該当	理由等
① 年間予算額における収支差額が0でない	×	該当なし
② 今年度下半期合計欄の収支差額が、収入合計又は支出額のうち低い方の額の1割以上増減がある	×	該当なし
③ 収入額又は支出額が前年度下半期比で3割以上増減がある	×	該当なし
④ その他特記事項		

<参考>

本施設について県が支出した（する）計画修繕工事・各所営繕工事等に係る修繕費等
基本協定において、県が負担することとしている修繕費等：**100万円以上**

	金額（千円）	工事箇所・内容（金額）
上半期		
下半期		
合計	0	

今期に行った資本的な収入及び支出等の状況

	金額（千円）	内容
収入	0	
	0	
	0	
	0	
支出	0	
	0	
	0	
	0	
積立等	0（期首）	
	0（期末）	

- 1 収入：定期預金の取り崩し、借入れによる収入等
- 2 支出：車両の購入、施設の増改築、定期預金の積立て等
- 3 積立等：施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等

5 利用状況

	利用者数	前年同期利用者数	前年同期対比増減率
10月	860 人	1,120 人	▲ 23.2 %
11月	809 人	1,063 人	▲ 23.9 %
12月	807 人	1,068 人	▲ 24.4 %
1月	846 人	1,086 人	▲ 22.1 %
2月	791 人	931 人	▲ 15.0 %
3月	954 人	957 人	▲ 0.3 %

	目標利用者数	利用者数	前年同期利用者数	目標対比増減率	前年同期対比増減率
今年度上半期計	- 人	5,171 人	6,679 人	%	▲ 22.6 %
今年度下半期計	- 人	5,067 人	6,225 人	%	▲ 18.7 %
今年度合計	0 人	10,238 人	12,904 人	%	▲ 20.7 %

※目標利用者数は設定していません。

利用状況に関する確認等

確認項目	該当	理由及び対応策
① 今年度下半期の利用者数が前年同期比で1割以上増減	○	利用者延べ人数の減少の理由としては、丁寧できめ細やかな支援の結果、自立が促進され、早期に退所する者が増えたためと考えられる。 また、新規入所者の減少傾向は収束しつつあるものの、新規入所者の増加には至っていない。理由として、施設の老朽化に加え、入所者が望む個室化への対応ができていないことが要因として考えられる。これに対応するため、平成26年度に個室化した施設に移転を予定している。
② 今年度下半期の利用者数が目標利用者数を下回った	×	該当なし
③ その他特記事項		

6 苦情・要望等の状況

受付件数

下半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数	0	0	0	0	0	0
下段：報告件数のうち所管課受付分	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

(参考)

上半期報告件数	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	電子メール	アンケート	
上段：報告件数	0	0	1	0	0	1
下段：報告件数のうち所管課受付分	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)

7 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備		
職員対応		
事業内容		
その他		

8 事故や不祥事等の発生状況

該当なし

発生日	事故等の概要	指定管理者の対応状況	原因・問題点 (指定管理者の課題を含む)

9 随時モニタリングの実施状況

該当なし

実施日 (事故発生日)	経緯・調査内容	調査結果 (指定管理者の課題の有無等を含む)
()		
()		
()		

10 今期の実績を踏まえた評価、改善策等

・利用者の自立支援、就労支援、退所者の支援等に積極的に取り組んでおり、指定管理業務を着実に推進している。その結果、当初の目的を達成しての退所となるケースが増えており、自立支援が適切に行われていることが評価できる。

・平成25年度の母子の受け入れ再開に向けた母子研修の実施のほか、DV被害支援者研修に参加するなど、職員の質の向上を図っている。

・さつき寮防災マニュアルを作成し、職員間で周知徹底を行っており、防災意識の向上を図っている。

・入所者等満足度調査が行われ、昨年度に比べ入所者の満足度が向上しており、職員による丁寧できめ細やかな支援が行われていると評価できる。一方、苦情解決システムの周知度が低いことが判明したことについて、「苦情解決事業のお知らせ」を作成し、制度の周知を図るなど、苦情解決事業について改善を図っている。

・生活の基本となる食事に関して、季節を意識した食事の提供や、昼食のセレクトメニューを実施しており、利用者の満足度も高いので、引き続き実施されたい。